

No. 1



作成者による作品の説明

「SAPPORO」のひとつひとつのタイポグラフィーを色々な個性を持った人々としてデザインし、その人々が手を繋ぎ円を描くことで「つながり合う共生のまち 札幌市」を表現しました。子どもから大人まで伝わる優しさや親しみやすさを目指しました。

No. 2



作成者による作品の説明

雪の結晶をモチーフに 雪のまち「札幌市」を表現しました。同じ雪でも見え方が異なる結晶のように 誰もが互いにその個性を尊重することを願い「結晶」を起用しました。また、人々が共に手を取り合い 思いやり(ハート)が生まれることで シンボルマーク(結晶)が完成します。

No. 3



作成者による作品の説明

札幌市をイメージする北斗星を意味する星形と市の花「すずらん」の花を合わせ、つながり合う人々に擬人化したデザインです。5色のカラーで「誰もがつながり合う共生のまちづくり」を表現。多様性と包摂性が強みとなる共生社会を表しています。誰もが親しみやすく札幌市が感じられるデザインで、縮小時の視認性を確保しています。

No. 4



作成者による作品の説明

札幌市10区を抽象化し、一つの円にしました。カラフルで様々な形の札幌市は多様性を表現していて、一つの円となることで、互いに尊重し合う包摂性が強みの社会を表現しています。また、手をつなぎ合っているようにも見えるハートマークは、互いに尊重し合う人々を表現しています。

No. 5



作成者による作品の説明

札幌市の「サ」をモチーフに、人々の個性や笑顔のつながり、プラスのつながりを表現し、元気に発信する「札幌市誰もがつながり合う共生のまちづくり条例」をイメージしました。

No. 6



作成者による作品の説明

リボンの輪は札幌の「さ」の形をモチーフに、まちを包み込むつながりと温かさを表現しました。そこに重なる手は、多様な人々が支え合う姿を象徴しています。色の違う手は互いの個性や背景を尊重し合う共生社会を示し、未来に向けてつながり続けるまちの姿を願いました。